項番	提出 自治会	質問の内容	回答	担当課
1	宝ヶ谷	寺山915番地付近の市道60号線、市道寺山18号線(旧266号線)の接合部に架かる橋について 大雨が降った場合、市道60号線から大量の雨水と泥が流れ込み、橋の上に滞留する。雨が上がった後には、かなりの量の泥と泥水が残り、市道寺山18号線(旧266号線)奥の宝ヶ谷戸5組の住民の通行の妨げになっている。 市道60号線の形状は右左両方向とも傾斜があり、橋との接合部が一番低くなっているため、雨水の流入はある程度、仕方がないが、橋上に滞留させないで、市道寺山18号線(旧266号線)の方向にスムーズに流す方法を考えていただきたい。	当該箇所が住民の通行の妨げとなっていることより、無名橋に滞留した水の排水を促すために、上流側の地覆コンクリートにスリット(水みち)を設ける補修工事を今年度中に実施します。また、恒久的な対策としては、無名橋の長寿命化を図るために実施する修繕工事の舗装打換えに併せて、適正な路面排水勾配の確保を検討します。	
2	小金沢	空家や空地の雑草が伸び放題であり、また空家の損傷に伴う廃材等の飛散による近隣家屋の損傷が心配である。空家所有者への対応・指導をお願いしたい。	空家や空地(山林や農地を除く)の適正管理については、現地確認のうえ、所有者等へ指導を行いますので、情報提供をお願いします。	
3	小金沢	近年の激しい降雨が名古木地区内に降り注いだ時、 増水による家屋被害が想定される。西沢から小金沢の 河川流域の雑木、雑草の撤去をお願いしたい。	西沢の上流部は県の管理(砂防指定箇所)となっていますので、具体的な場所を示していただければ、平塚土木事務所河川砂防第二課に地元の要望として伝えます。	国県事業推進

項番 提出 自治会	質問の内容	回答	担当課
4 小金沢 i	よる名古木地域内(上原、小金沢、西沢、才玉)道路への迂回車両が大変多く、速度超過しており、学童及び周辺住民がごみ出し等で道路横断時の接触事故等が懸念される。	児童等の通学時間に現地を確認したとのは、	道路整備課建設管理課

東地区 質問事項一覧

項番	提出 自治会	質問の内容	回答	担当課
	養毛連合	県道70号線における歩道設置等について(継続) 近年、自然との触れ合い、健康志向の高まりを背景 に、休日を中心に車、バイクをもとより、自転車、 ジョギング等の往来者が増えている。 そうした中、蓑毛地区における県道の歩道設置の状況は、東電変電所入口から上は未設置であるとともに、石造りの鳥居がある所では、下り車線がS字となって見通しが悪く、バイクの死亡事故など、交通もない多発している。加えて、安政6年に建之された。居も経年劣化が進み、石片が落下しており、倒壊の対応をお願いしたい。	過去に関係地権者の合意が得られず、事業化できなかった経緯がありますが、平成29年に、関係地権者から要望書が提出され、平塚土木事務所へは改めて事業化を要望しています。	課

項番 提出 自治会	質問の内容	回答	担当課
6 合	蓑毛橋から上流の金目川の河川整備について(継続) 蓑毛橋から上流100メートルまでにわたっては、 川の中が大きな岩で埋め尽くされて、水はそれを避けるように複雑に蛇行して流れている。近年各地で豪雨による土砂災害が発生しているが、ひとたび豪雨となった場合には、県道の橋脚や川岸の損壊のほか、流木が川をせき止め、土砂が県道へ流出など、甚大な被害につながることが容易に想像される。異常気象に対応した急流域の河川整備をお願いしたい。	現地を確認した中で、現在、緊急な対応は考えていませんが、今後も市と県(平塚土木事務所河川砂防第二課)で渓流の状況を確認していきます。状況が著しく変化した場合は、当該砂防指定地の整備を行う県と対策を検討し、必要な処置を講じていきます。	課

項番	提出 自治会	質問の内容	回答	担当課
		橋から下流において県により河川整備していただいた ことに感謝したい。 この棚入沢において、今回整備していただいた春陽	県によると、棚入沢の砂防指定地は春陽橋から下流 部であり、砂防指定地内の事業は完了しいるとのことです。春陽橋から上流部の砂防指定の予定はないと のことでした。 今後、渓流の状況が著しく変化した場合は、春陽橋 から上流部について、県と必要な処置等を検討してい きます。	課

項番	提出 自治会	質問の内容	回答	担当課
8	西田原 連合	秦野市全体のまちづくりへの提言(自然と人的交流による秦野を体感してもらうための東地区「おもてなしアピールポイント」)	貴重な御意見・御提案として、関係課等と共有させていただき、今後の施策の参考とさせていただきます。	総広市課生文高環産観農教合報民